

製品名: ENX-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10485**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	85kDa

抗原情報

遺伝子名	EZH1
別名	EZH1; KIAA0388; Histone-lysine N-methyltransferase EZH1; ENX-2; Enhancer of zeste homolog 1
遺伝子 ID	2145.0
SwissProt ID	Q92800
免疫原	抗血清はヒト EZH1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

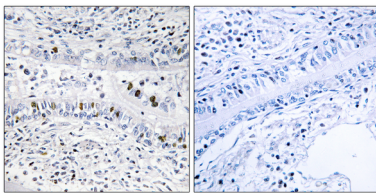
背景

zeste 1 ポリコーム抑制複合体 2 サブユニット (EZH1) のエンハンサー Homo sapiens EZH1 は、ヒストン H3 (MIM 602812 を参照)

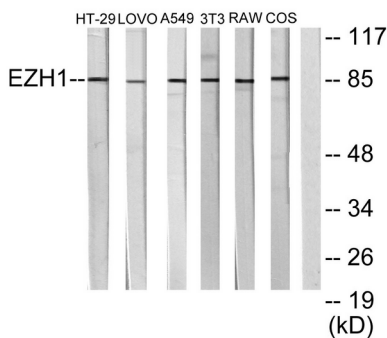
lys27 (H3K27) のメチル化を媒介し、胚性幹細胞の多能性および可塑性の維持に機能する非標準的なポリコーム抑制複合体 2 (PRC2) の構成要素です (Shen et al., 2008 [PubMed 19026780])。[OMIM 提供、2009 年 3 月]、触媒活性: S-アデノシル-L-メチオニン + ヒストン L-リジン = S-アデノシル-L-ホモシステイン + ヒストン N(6)-メチル-L-リジン。、機能:ポリコーム グループ (PcG) タンパク質。 PRC2/EED-EZH1 複合体の触媒サブユニット。ヒストン H3 の「Lys-27」をメチル化し、影響を受ける標的遺伝子の転写抑制につながります。ヒストン H3 の「Lys-27」をモノメチル化、ジメチル化、トリメチル化して、それぞれ H3K27me1、H3K27me2、H3K27me3 を形成します。胚性幹細胞の誘導と自己複製に必要であり、胚性幹細胞のアイデンティティの保護に関与していることを示唆しています。EZH1 を含む複合体と比較して、胚性幹細胞での量が少なく、胚性幹細胞のアイデンティティと適切な分化に必要な H3K27me3 の形成においてそれほど重要な役割を果たしません。類似性: ヒストンリジンメチルトランスフェラーゼファミリーに属します。EZ サブファミリー。類似性: 1 つの SET ドメインを含む。細胞内局在: ヒストン H3 のトリメチル化された「Lys-27」と共局在する。サブユニット: EED、EZH1、SUZ12、RBBP4、AEBP2 を含む PRC2/EED-EZH1 複合体の構成要素。PRC2/EED-EZH1 は PRC2/EED-EZH2 複合体よりも存在量が少なく、メチルトランスフェラーゼ活性が弱く、メチルトランスフェラーゼ補因子 S-アデノシル-L-メチオニン (SAM) が欠乏するとクロマチンを凝縮する。、

研究分野

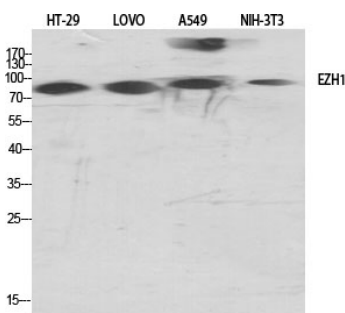
画像データ



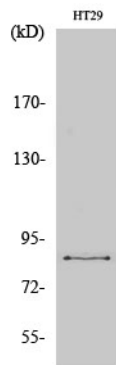
EZH1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



EZH1 抗体を用いた HT-29、LOVO、A549、NIH/3T3、RAW264.7、COS7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ENX-2 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。



ENX-2 ポリクローナル抗体を使用した COS7 細胞のウェスタン ブロット分析。